

<学校教育目標>

「共感(認め合う心)・探究(学ぶ力)⇒飛躍(社会に貢献する姿勢)」

- 基礎学力の定着と自ら学ぶ力の育成 [知]
- 多様性を認め共感する力の育成 [徳]
- 生命を尊ぶ健康な心と身体の育成 [体]
- 様々な他者と関わり合い、社会に貢献する態度の育成 [公・開]



発行 横浜市立瀬谷中学校
校長 市村 美穂子
住所 瀬谷区中央5-41
TEL 301-0096 FAX 301-0099

努力無限 ～才能より行動!!～

校長 市村 美穂子

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの姿が戻ってきました。教室に響く元気な声や明るい笑顔を見ると、やはり学校は子どもたちがいてこそだと実感します。本校は二学期制のため、新学期は生徒会本部役員の運営による集会でスタートしました。始まってみれば、子どもたちは自然に学校生活のリズムを取り戻し、いつもの日常が再び動き始めました。

しかし、全国のすべての学校が同じように新学期を迎えられたわけではありません。夏休み中の7月28日、熊本県では最大震度7を観測する地震が発生し、多くの方が被害を受けました。校舎にひびが入り、応急的な給食対応を続けている学校もあると報道されています。また、千葉県や北陸地方では記録的な豪雨による被害も発生しました。さらに、各地で激しい雷雨も相次ぎました。

災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。本校でも今月末に防災訓練を予定していますが、自分や大切な人の命を守るために何ができるのか、一人ひとりが真剣に考えることの大切さを改めて感じた夏でした。

さて、話は変わります。「努力無限」という言葉があります。本校でも、この言葉をスローガンとして掲(かか)げている部がありますよね。生まれもった才能には限界があるかもしれないが、努力はどこまでも積み重ねることができる、という意味の言葉です。足が速い、運動神経がよい、歌が上手、勉強が得意、人前で話すのが上手…。人それぞれ得意なことや、もって生まれた能力があります。しかし、それ以上に大切なのは、挑戦を続けることです。

「やってみよう」と一歩を踏み出すこと。うまくいかなくても、あきらめずに続けること。私は、成長する人に共通しているのは、この姿勢だと思っています。

これから冬休みまでの4か月間、授業や文化祭、部活動など、多くの場面で挑戦の機会があります。楽しいこともあれば、「自分にできるだろうか」と不安になることもあるでしょう。でも、最初から何でもできる人はいません。才能・能力に自信がなくても心配はいりません。

一時間一時間の授業に真剣に取り組む。少し苦手なことにも挑戦してみる。仲間のために一歩動いてみる。そんな小さな積み重ねが、やがて大きな力になります。

一度に大きく成長する必要はありません。昨日の自分より少しだけ前に進めたなら、それは立派な成長です。

努力無限。行動し続ける人の成長に限界はありません。自分の可能性を信じて、一歩ずつ前へ進んでいきましょう。



生徒たちの健全育成を目指して

生徒指導専任 成田 俊太郎

夏休み明けの全校集会で、全校生徒に話した内容を保護者の皆様にも共有させていただきます。

施設や物品を故意に破壊したり、傷つけたりする。他人に対して「脅迫」「恐喝」に値する暴言を吐く。故意に身体接触をしたり、殴る蹴るなどの暴力行為をしたりする。これらの行為は社会では許されない行為です。しかし「学校の中だったら許される。外部機関に連絡が行くことはない。」という甘い考えで行動してしまう生徒が増えています。そこに学校として危機感を持っており、とても不安に感じています。

上記のような事案（社会で罪に問われるような事案）が発生した場合、学校は、もちろん教育的指導をするわけですが、状況によっては警察等外部機関と連携を図り、然るべき措置をとることも検討します。それは、「社会で許されないことは学校の中でも許されない」ということを、一人ひとりに理解してもらう必要があるからです。全員が安心して生活できる学校を守るためです。何よりも、問題行動をした本人に事の重大さを理解してもらい、二度と同じことを繰り返さないでもらいたいからです。社会に出て大きな問題を起こしてほしくないからです。生徒の今後の人生を考えたときに、学校が必要に応じて外部機関と連携し、適切な指導をする方が、その子のためになると考えるからです。

しかしながら、私たちも然るべき措置を取らざるを得ない状況になることは望んでいません。だからこそ、今後は社会で許されない行為を学校内でも行わないでほしい、ということを強く伝えました。

私自身も以前は警察や児童相談所、区役所などの関係機関と「一緒に指導をする」という考えはありませんでした。しかし、生徒指導専任という立場になり、日々警察の方、児童相談所の方、区役所の方、その他多くの関係機関の方たちと話をさせていただく機会が増えました。その中で率直に感じたことは、学校や家庭以外に、こんなにも真剣に子どもたちのことを考え、全力で協力してくださる人たちがいるのか、ということです。学校と家庭だけではなく、様々な視点や切り口から、適切に指導していくことの大切さを感じました。

保護者の皆様にもご理解いただき、同じ方向を向いて、子どもたちの成長を支えていけたらと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

横浜子ども会議 瀬谷中ブロック会議

いじめ防止をテーマに「横浜子ども会議」が行われました。瀬谷中ブロックでは、瀬谷小学校、上瀬谷小学校、大門小学校、瀬谷中学校の4校が参加し、各校の代表児童・生徒による話し合いを行いました。また、本校の生徒会本部の代表生徒が「瀬谷区横浜子ども会議」にも参加しました。

瀬谷中ブロック会議では、本校の生徒会本部役員がファシリテーターとして会議を進行しました。「いじめはいけないと分かっているのに、なぜなくなるんだろう」「目の前でいじめが起こったら、本当に止める行動ができるかな」といった問いについて、小学生と中学生が意見を出し合いながら考えを深めました。

本校の生徒たちは、小学生の意見に耳を傾けながら、自分の考えを分かりやすく伝え、話し合いをリードする姿が見られました。今回の会議で学んだことを、今後の学校生活やいじめ防止の取組につなげていくことを期待しています。



部活動夏の大会 結果

部活動名	大会名
野球部	市総体 3 回戦進出
サッカー部	市総体 4 回戦進出
バスケットボール部女子	市総体 優勝
	県総体 準優勝
	関東大会出場
バスケットボール部男子	市総体（西部ブロック大会） 4 回戦進出
ソフトテニス部男子	市総体 男子団体戦 第 3 位
	県総体 男子団体戦出場
ソフトテニス部女子	市総体出場
女子バレーボール部	市総体 2 回戦進出
陸上競技部	県通信大会 男子共通 200m 出場
剣道部	市総体 男子団体 男子個人 出場
	市総体 女子団体 女子個人 出場
	県総体 男子団体 男子個人 出場
柔道部	市総体（男子団体）準優勝
	市総体（男子個人）優勝、準優勝、第 3 位、第 5 位
	市総体（女子個人）第 3 位
	県総体（男子団体）第 5 位
	県総体（男子個人）第 3 位
	関東大会（男子個人）出場
女子ソフトボール部	市総体 2 回戦進出
卓球部	区大会 個人 4, 5, 6 位入賞
	市総体（男子団体）予選リーグ 3 位
	市総体（男子個人）出場
バドミントン部	区大会（女子シングルス・ダブルス）優勝
	市総体（女子シングルス・ダブルス・団体）出場
	市総体（男子団体）出場
合唱部	N H K 合唱コンクール 神奈川県予選 優秀賞
	N H K 合唱コンクール 神奈川県大会 銅賞
	T B S こども音楽コンクール 横浜地区大会優秀賞
将棋部	第 42 回神奈川県小中学校将棋大会 初級戦出場

水泳部	区大会 女子 200m メドレーリレー 3 位 男子 100m 個人メドレー 2 位 男子 200m 個人メドレー 3 位 女子 100m バタフライ 3 位 女子 100m 平泳ぎ 2 位 女子 50m 背泳ぎ 2 位 女子 50m 背泳ぎ 3 位 女子 50m 平泳ぎ 2 位 男子 50m 背泳ぎ 3 位
	市総体 女子 100m 平泳ぎ 8 位入賞 県総体出場 男子 100m 平泳ぎ 県総体出場
吹奏楽部	横浜市吹奏楽コンクール 銀賞

小中一貫教育推進ブロック 合同研修会（8 月 25 日）

瀬谷中学校ブロック 4 校では、「小中 9 年間を通して育てる子ども像」を「子どもが考えたり考えを発信したりする場面を意図的に設定した授業を日々展開する」「行事において、できる限り子どもの声を生かし、子どもが主体的に活動する場面を設定する」とし、合同研修会を年 3 回実施しています。

今回は今年度第 1 回目として、瀬谷小学校体育館に集まり、横浜国立大学特任教員（教授）・初等中等教育推進本部の松原雅俊先生にご講演をいただきました。現行学習指導要領のもとでの教育活動の振り返り、次期学習指導要領への理解、改訂を見据えた展望についてお話を伺いました。4 校の教員が、授業や教育活動について熱心に話し合う場面も見られ、大変有意義な時間となりました。

今後もよりよい児童生徒の育成を目指し、各小学校との連携・協力を大切にしていきたいと思ひます。



瀬谷中学校・横浜学校あんしん・あんぜん宣言

横浜市立学校では、学校を安全・安心な環境にするための総合対策の一環として、「横浜学校あんしん・あんぜん宣言」を各校で策定することとなりました。本校では次の内容となります。

【人権尊重】

子どもたちとの対話を通して信頼関係を築き、
一人ひとりに丁寧に関わります

【安全・安心な環境】

子どもたちに関わる大切な情報を守るとともに、
安心して過ごせる環境を徹底して守ります

【支え合う職員集団】

一人で抱え込まず、自分事として、共に考え、
共に動く職員集団を作ります

改めて、教職員として学び続ける気持ちを忘れず、不祥事防止に努めるとともに、生徒の皆さんが安心して過ごせる安全な学校環境づくりに真摯（しんし）に取り組んでまいります。

先生は子どもたちの未来を思い、
今、ある笑顔を全力で支えます。

令和 8 年度版

よこはましりつ せや ちゅうがっこう きょうしつくいん
横浜市立瀬谷中学校の教職員は

学校にかかわるすべての人が
あんしん・あんぜんに学校にいられるように
みんなで作ったルールを宣言します。

【人権尊重】
子どもたちとの対話を通して信頼関係を築き、
一人ひとりに丁寧に関わります

【安全・安心な環境】
子どもたちに関わる大切な情報を守るとともに、
安心して過ごせる環境を徹底して守ります

【支え合う職員集団】
一人で抱え込まず、自分事として、共に考え、
共に動く職員集団を作ります

アップデートし続けるチーム瀬谷中

先生は笑顔のために。

ひとりでは抱えない・見て見ぬふりはしない

横浜市教育委員会